

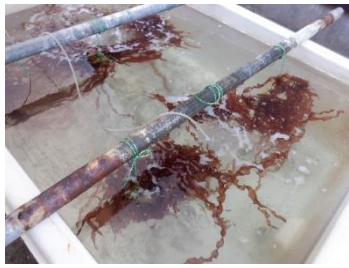
8 各圏域の取組

仙台地方振興事務所水産漁港部

重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化
取組項目	【施策6】地域で稼ぐ力の強化
取組内容	「みやぎ水産の日」の取組
令和5年度の実績	●「みやぎ水産の日」に関する取組 みやぎ水産の日に開催される宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所主催の「漁協の夕市」、同仙南支所(亘理)主催の「亘理荒浜水産物直売会」などにおいて、お魚図鑑ポスターを消費者へ配布し、地元水産物のPRを行うなど、購買意欲の促進を図った。 仙台湾・地域のおすすめ食材カレンダー・みやぎ水産の日だより(仙台管内版)について、当部のホームページで紹介した。 【PR活動を行った直売所】 七ヶ浜町:「漁協の夕市」(主催:宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所) 名取市:「いろどりなとり産直マーケット」(主催:名取市) 亘理町:「亘理荒浜水産物直売会」(主催:宮城県漁業協同組合仙南支所) 「鳥の海ふれあい市場」(主催:鳥の海ふれあい市場共同組合)  「漁協の夕市」の様子  販売されている水産物の様子(漁協の夕市)
令和6年度の主な取組	■昨年度に引き続き、毎月仙台管内での「みやぎ水産の日だより(仙台管内版)」を作成し、HPに掲載するほか、管内の直売会に併せ、水産物のPR活動を行う。 ■「みやぎ水産の日」と連携したイベントの開催等について、流通関係者や各方面に働きかけていく。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策9】自然環境や地域資源を活かした漁村地域の活性化
取組内容	魚食普及の取組
令和5年度の実績	●食料支援事業への水産物提供 仙台市内、岩沼市内及び東松島市内のこども食堂が実施する宅配やフードパントリー等の食糧支援事業に対して、宮城県漁業士会南部支部及び宮城県漁業協同組合と連携し、社会貢献活動として地元で生産された水産物の提供を行った。 漁業士会南部支部では、「いわぬまこども食堂(プラス)」及び「せんだいこども食堂」に対し、味付け海苔等の提供支援を実施した。 ●こども食堂における出前授業の実施 ノリ養殖業を営む漁業士会南部支部の漁業士がこども食堂を訪問し、ノリ養殖の方法の説明や、焼き海苔作り体験を通して、水産物の魅力を伝えたほか、魚食普及として、「みやぎ水産の日だより(仙台管内版)」を配布し、地元産水産物のPRを行った。  こども食堂へ提供した味付け海苔  漁業士会南部支部漁業士によるノリ養殖の説明と焼き海苔作り体験
令和6年度の主な取組	■管内のこども食堂が実施する食糧支援事業等へ宮城県漁業士会南部支部として協力し、水産物の提供、魚食普及に関するワークショップを開催する。

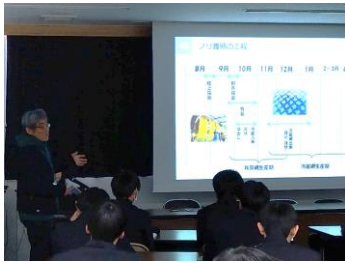
重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成，地域をけん引するリーダーの育成、 地域における女性の活躍
取組内容	宮城県漁業士会活動の支援(南部支部)
令和5年度の実績	●宮城県農業士会南部支部との交流会 令和5年11月28日、宮城県漁業士会南部支部として宮城県農業士会との交流会を開催した。漁業士と農業士が持ち寄った食材を仙台市内の飲食店(6店舗)に提供し、各飲食店が創作したコラボメニューを、期間限定で販売・提供した。 ●魚食普及ワークショップの開催 令和6年3月3日、塩釜水産物仲卸市場にて魚食普及を目的としてワークショップを開催した。ワークショップには約400名の集客があり、漁業士による水産物の生産工程等の説明、焼き海苔体験、水産物のお振舞(海苔汁、蒸し牡蠣、わかめしゃぶしゃぶ)、殻付き牡蠣の販売等、県内産水産物のPRを行った。   農業士会との交流会 ワークショップの様子
令和6年度の主な取組	■県外の漁業士との交流や漁業士自らが行う水産物のPR、各種活動(研修、先進地視察、他団体との連携等)を通して、浜の活性化を更に進める。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	漁協青年部・女性部活動の支援
令和5年度の実績	●アサリ資源増殖に向けた取組 宮城県漁協各支所（鳴瀬支所、松島支所、七ヶ浜支所、仙南支所（亘理））青年部が取り組むアサリ資源増殖について、天然採苗技術の普及、活動支援、増殖場造成等を行い、その後定期的に調査した。 鳴瀬支所青年部が実施するアサリ増殖場造成による追跡調査では、潮流の変動による土砂の堆積が確認され、稚貝密度の減少が確認された。 天然採苗試験では、松島支所青年部が令和4年5月に設置したケアシエルを入れた採苗袋から、1袋あたり354個、七ヶ浜支所青年部が令和3年6月に設置したケアシエルを入れた採苗袋から、1袋あたり251個、亘理支所青年部が令和4年6月に設置したケアシエルを入れた採苗袋から、1袋あたり354個と、新しい稚貝の加入が確認された。 ●アサリ養殖技術の普及 宮城県漁協塩釜地区支所が取り組むアサリ養殖試験の技術指導を行った。漁場で漁獲したアサリを篩で選別し、小型のアサリを砂利等を敷砂したトレイで飼育する方法を検討した。 飼育試験（7月～3月）の期間中、特に8月は海水温が30℃を超える環境下にあったが、最終的な生残率は72%であった。 ●ダルス養殖・加工技術の普及 宮城県漁協塩釜地区支所等が取り組む紅藻類「ダルス」の種苗生産、養殖試験、乾燥品の試作について、水産技術総合センターと連携して技術指導を行った。 鳴瀬支所、塩釜地区支所で実施した種苗生産では、人工採苗、夏眠管理、芽出し管理、沖出しまで問題なく実施されたが、塩釜地区支所においては、沖出し後の低気圧や食害と思われる影響により、芽落ちが確認された。  長浜海岸アサリ増殖場造成試験  浦戸アサリ養殖試験  ダルス採苗指導
令和6年度の主な取組	■宮城県漁協各支所青年部が取り組むアサリ資源増殖について、天然採苗技術の普及、活動支援等を継続して実施し、松島湾内のアサリ資源の増大を図る。 ■アサリ養殖試験については、来年度以降も継続し身入り調査や出荷時期等の検討を行う。 ■ダルスの種苗生産の安定化、養殖技術の改良により、生産量の増加を図るとともに、保存方法の検討や販路開拓を行う。

東部地方振興事務所水産漁港部

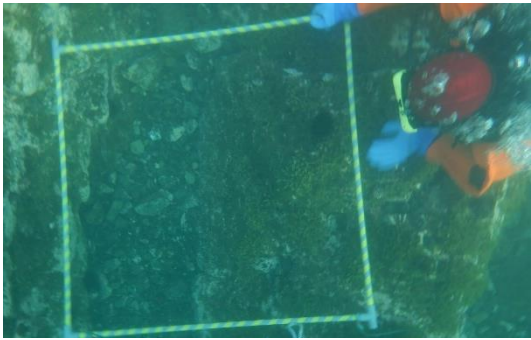
重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化																																																												
取組項目	【施策6】地域で稼ぐ力の強化																																																												
取組内容	「みやぎ水産の日」の取組																																																												
令和5年度の実績	●展示販売会・斡旋販売の実施 地域の水産物・水産加工品を県民に広くPRする一環として、8月を除く毎月、石巻合同庁舎内ロビーにおいて、地域住民向けにみやぎ水産の日のテーマ食材を中心とした水産加工品等の展示販売会を行った。 販売会には、管内企業延べ22社が参加し、178品の商品を販売した。また、主に庁内の職員を対象に、シジミ、ホヤ、ホタテの斡旋販売を合計4回実施した。  みやぎ水産の日展示販売会の様子 B5「みやぎ水産の日」月別 参加業者数と出品数 <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">テーマ食材</th><th colspan="2">展示販売会</th></tr><tr><th>参加業者数</th><th>出品数</th></tr><tr><td>4月</td><td>カキ</td><td>3</td><td>10</td></tr><tr><td>5月</td><td>ギンザケ (みやぎサーモン)</td><td>2</td><td>20</td></tr><tr><td>6月</td><td>ホヤ</td><td>3</td><td>12</td></tr><tr><td>7月</td><td>ホヤ</td><td>3</td><td>28</td></tr><tr><td>8月</td><td>アナゴ</td><td colspan="2">休止</td></tr><tr><td>9月</td><td>カツオ</td><td>2</td><td>7</td></tr><tr><td>10月</td><td>マグロ・サンマ・サケ</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>11月</td><td>カマボコ・カキ・サワラ</td><td>1</td><td>12</td></tr><tr><td>12月</td><td>サバ</td><td>2</td><td>31</td></tr><tr><td>1月</td><td>タラ</td><td>2</td><td>14</td></tr><tr><td>2月</td><td>ワカメ・メカブ</td><td>1</td><td>15</td></tr><tr><td>3月</td><td>ワカメ・メカブ</td><td>2</td><td>21</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>22</td><td>178</td></tr></table> ※業者の重複有り ●水産物の販売促進活動 コープ東北、宮城県漁協と量販店における宮城県産水産物の販売促進の取組を実施し、認知度向上と販路回復・拡大に努めた。 ・6月17日(土) 宮城県産ホヤPR みやぎ生協塩釜栄町店、蛇田店、石巻大橋店 ・2月10日(土) 宮城県産カキPR みやぎ生協塩釜栄町店、石巻大橋店  6月17日宮城県産ホヤPRの様子  2月10日宮城県産カキPRの様子 <tr><td>令和6年度の主な取組</td><td> ■引き続き以下の取組を実施していく。 ・展示販売会の実施 ・農産品とのコラボ販売会の実施 ・東部地方振興事務所食堂における「みやぎ水産の日定食」の提供 </td></tr>		テーマ食材	展示販売会		参加業者数	出品数	4月	カキ	3	10	5月	ギンザケ (みやぎサーモン)	2	20	6月	ホヤ	3	12	7月	ホヤ	3	28	8月	アナゴ	休止		9月	カツオ	2	7	10月	マグロ・サンマ・サケ	1	8	11月	カマボコ・カキ・サワラ	1	12	12月	サバ	2	31	1月	タラ	2	14	2月	ワカメ・メカブ	1	15	3月	ワカメ・メカブ	2	21	合計		22	178	令和6年度の主な取組	■引き続き以下の取組を実施していく。 ・展示販売会の実施 ・農産品とのコラボ販売会の実施 ・東部地方振興事務所食堂における「みやぎ水産の日定食」の提供
	テーマ食材			展示販売会																																																									
		参加業者数	出品数																																																										
4月	カキ	3	10																																																										
5月	ギンザケ (みやぎサーモン)	2	20																																																										
6月	ホヤ	3	12																																																										
7月	ホヤ	3	28																																																										
8月	アナゴ	休止																																																											
9月	カツオ	2	7																																																										
10月	マグロ・サンマ・サケ	1	8																																																										
11月	カマボコ・カキ・サワラ	1	12																																																										
12月	サバ	2	31																																																										
1月	タラ	2	14																																																										
2月	ワカメ・メカブ	1	15																																																										
3月	ワカメ・メカブ	2	21																																																										
合計		22	178																																																										
令和6年度の主な取組	■引き続き以下の取組を実施していく。 ・展示販売会の実施 ・農産品とのコラボ販売会の実施 ・東部地方振興事務所食堂における「みやぎ水産の日定食」の提供																																																												

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策8】防災機能の強化と新たな視点での漁港等の利活用
取組内容	漁港内でのウニ蓄養試験
令和5年度の実績	●光周期のコントロールによるウニの身溶け抑制効果及び身入り回復効果の検証 近年の海洋環境の変化等による磯焼けの進行に伴い、海藻類を餌とするウニの餌料環境が悪化しており、本県の漁業関係者からは、商品価値の低い痩せウニが増加しているとの声が寄せられている。 これら痩せウニの有効利用を図るため、田代島仁斗田漁港において、磯焼け海域から移植したウニに養殖ワカメを給餌するとともに、LEDライト照射下で蓄養し、光周期のコントロールによるウニの身溶け抑制効果及び身入り回復効果を検証した。 今年度の試験では、磯焼け漁場から漁港内への移植や養殖ワカメの給餌によってウニの餌料環境が向上し、天然漁場と同等の身入りまで回復することが示唆されたが、LEDライト照射による身溶け抑制効果については、照射時期や範囲の調整に不測の日数を要したため、当初想定していた結果を得ることができなかった。  LEDライトによる長日処理  給餌により身入りが回復したウニ
令和6年度の主な取組	■ 今後は、今回得られた知見をもとに試験区の配置等を改善し、引き続きウニの身溶けや身入りの状況をモニタリングするとともに、他県で行われている閉鎖・給餌型の蓄養方法について情報収集し、コスト比較を行うなど、本手法の採算性に係る検証を行っていく。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	宮城県漁業士会活動の支援(中部支部)
令和5年度の実績	●宮城県漁業士会中部支部研修会(令和5年6月26日開催) 県内全域で貝毒による出荷規制が多発したことを踏まえ、支部の枠を越えて参加者を募り、北海道大学名誉教授の今井一郎氏を招き、「環境にやさしい有害有毒赤潮対策」というテーマで講演を実施した。研修会には、約40名が参加し、藻場やアマモ場造成の重要性を再確認するとともに、貝毒プランクトン抑制策についての知見を深めた。 ●宮城県漁業士会中部支部地区懇談会(令和6年3月19日開催) アフターコロナで徐々に活発化する漁業士活動等の一助とするため、水産関連補助事業の紹介や先進地視察の結果について県から話題提供を行い、会員相互の意見交換及び情報共有を行った。 ●宮城県漁業士会中部支部先進地視察(令和5年7月13日から7月14日まで) 首都圏における本県水産物の販売動向の把握を目的に、宮城県産水産物を利用する都内飲食店と豊洲市場の視察を行った。飲食店の視察では、会員が生産したカキ、ホタテ、ホヤ等の水産物をシェフに調理いただき、意見交換を行うことで、首都圏で求められる食材や取引手法等の情報を得ることができ、今後の生産及び販売に向けた取組に弾みがついた。また、豊洲市場の視察では、安全で安心な水産物を消費者へ提供するための品質管理や衛生管理に対する関心が高まった。 ●石巻農業士会・宮城県漁業士会中部支部交流会(令和6年2月5日開催) 担い手の確保・育成の取組として、若者の地元就職に向けた体制づくりと一次産業間の情報共有を図るため、石巻農業士会と宮城県漁業士会中部支部との交流会を開催した。交流会には、農業士6名、漁業士14名が参加し、イチゴ生産現場の視察や作業体験を通して、今後の若手人材の受入促進に向けた活発な意見交換が行われた。 ●漁業士の活動 ～ノリ養殖の出前授業～(令和6年1月25日開催) 地域の高校生に漁師を進路の選択肢の一つとして考えるきっかけとしてもらうため、宮城県水産高等学校生物環境類型の2年生を対象に、ノリ養殖を営む相澤充指導漁業士による出前授業を実施した。授業ではノリ漁師の一日のスケジュールや、仕事内容等について説明が行われた。  先進地視察での調理例  農業士会・漁業士会交流会  ノリ養殖の出前授業
令和6年度の主な取組	■漁業士自らの知識と技術の向上及び地域漁業振興のため、引き続き、各種事業の企画・調整を行い、宮城県漁業士会中部支部の活動活性化を図る。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	漁協青年部・女性部活動の支援
令和5年度の実績	●養殖種苗(地種)安定確保の支援 【宮城県漁業協同組合北上町十三浜支所青年部】 近年の黒潮強勢に伴う海水温上昇や異常気象等の影響により、ワカメ種苗の他地区からの供給量や品質が不安定になっていることから、地種による養殖生産が拡大するよう、地種の採苗・育苗等に係る技術支援を行った。 北上町十三浜地区では、100 m 巻きの種枠40枠分を人工採苗し、約4か月間、陸上での育苗を行った。その後、海中での育苗期間中に植食性魚種による食害等があったものの、16 枠分の種苗を生産することができた。また、今後の取組の参考とするため、海中育苗による地種生産を行っている戸倉地区の漁業者と意見交換を行った。  ワカメ種苗の育成確認  育成したワカメ種苗 ●産直通販サイトの活用促進に向けた支援 【中部地区漁協女性部連絡協議会】 令和5年7月7日に開催された中部地区漁協女性部連絡協議会研修会において、産直通販サイトの活用に関する情報提供を行った。研修会には25名の会員が参加し、新たな販売チャネルを用いた販路開拓による漁家経営の安定化に関する理解が深められた。  産直通販サイトの情報提供資料  研修会の様子
令和6年度の主な取組	■ワカメ・カキ・ホヤ等の地種生産技術の安定化や藻場造成活動への支援等、青年部・女性部活動の活性化に向けた支援を行う。

気仙沼地方振興事務所水産漁港部

重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化
取組項目	【施策6】地域で稼ぐ力の強化
取組内容	磯焼け対策活動の支援
令和5年度の実績	●藻場造成に向けた取組 本県沿岸では磯焼けが進行しており、アワビ・ウニといった重要地先資源の餌料不足によって身入りの低下や資源減少といった影響が見られている。 磯焼けの原因は海洋環境もさることながら、植食動物(ウニ、アイゴ等)による過剰な食害の影響が大きいと考えられている。 現在、宮城県漁協各支所及び青年漁業者等の活動として、ウニの密度管理(採捕や移植放流)、コンブやアラメによる藻場造成に取り組んでいることから、その活動に対し支援した。 【アラメ種苗生産】 アラメの藻場造成に取り組む気仙沼大島磯焼け対策部会、マリンクラブミナト(歌津港地区)に対し、アラメ種苗生産に係る技術的な支援、指導を行った(採苗枠作成、タンク採苗、遊走子放出確認、沖出し、生育確認等)。  アラメ母藻採取・陰干し・遊走子確認  アラメ生育確認 【ウニの密度管理及びモニタリング】 各地区の磯焼け対策団体に対し、ウニの密度管理(採捕、移植)、モニタリング(コドラート枠調査)に係る技術的な支援、指導を行った。  ウニの密度管理(採捕、移植)  モニタリング(コドラート枠調査)
令和6年度の主な取組	■アラメ種苗生産 アラメ種苗生産について継続的に取り組む団体に対し、伴走型で支援するとともに、藻場造成に意欲がある他地区へ情報提供することで、アラメ種苗生産技術の横展開を図る。 ■ウニの密度管理及びモニタリング 水産多面的機能発揮対策事業(水産庁補助事業)により活動実施する団体に対して、可能な限り現地に同行し、活動方法、記録作成時の留意事項等について助言、指導するなど伴走型で支援する。

重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化
取組項目	【施策6】地域で稼ぐ力の強化
取組内容	「みやぎ水産の日」の取組
令和5年度の実績	●水産の日に関するPR活動 【テーマ(おすすめ)食材のPR】 毎月みやぎ水産の日テーマ食材に沿って、初心者にもわかりやすく学んでもらい、興味を持ってもらうため、管内のおすすめ食材の紹介や、漁業団体から提供いただく食材により、気仙沼リアス調理製菓専門学校が考案するレシピを「気仙沼水産漁港部だより」に掲載し、管内の直売所や量販店への陳列、地元紙・ホームページへの掲載等のPR活動を行った。 【地元量販店等と連携したPR活動】 令和6年1月31日、イトーヨーカドーアリオ仙台泉店において、気仙沼水産漁港部だより計200部、みやぎお魚図鑑ポスター100本の配布とともに、「むすび丸」に応援に来てもらい、「タラのクイズ大会」や「気仙沼産メカジキフェア」を盛り上げ、地元産水産物のPRを図った。 ●水産加工品の販売促進活動 【気仙沼合同庁舎直売会・斡旋販売】 水産加工品のPRと消費拡大を図るため、毎月、「みやぎ水産の日」または「地場産品生産者応援の日」の週に合わせ宮城県漁業協同組合及び管内水産加工業協同組合等の協力の下、気仙沼合同庁舎1階ロビーでの水産物直売会や斡旋販売を実施した。 なお、年間実績については、直売会(県庁販売会含む)は6回、10事業者、売上947,020円、また、斡旋販売は6回、10事業者、売上529,834円であった。 【水産加工品の販売促進会】 令和5年10月27日(金)から29日(日)及び令和6年1月27日(土)から28日(日)において、(株)イトーヨーカ堂、気仙沼市、南三陸町と共催した水産加工品の販売促進会をイトーヨーカドーアリオ仙台泉店で開催し、復興した気仙沼・南三陸地域の水産加工品を情報発信することにより、認知度の向上と販路回復・拡大に努めた。 なお、年間実績について、10月分は12事業者、100品、売上約1,630千円、1月分は10事業者、50品、売上約1,404千円であった。   イトーヨーカドーアリオ仙台泉店PR活動 気仙沼合同庁舎1階ロビー直売会
令和6年度の主な取組	■テーマ(おすすめ)食材のPR(水産漁港部だより作成) 毎月のおすすめ食材の紹介や、管内の水産関係全般の情報をわかりやすく伝える「気仙沼水産漁港部だより」を作成し、管内の直売所や量販店への陳列、地元紙やホームページへの掲載等によりPR活動を推進する。 ■気仙沼合同庁舎直売会・斡旋販売 管内水産物のPRと消費拡大を図るため、宮城県漁業協同組合及び管内水産加工業協同組合等の協力の下、気仙沼合同庁舎1階ロビーで水産物直売会の開催や、みやぎ水産の日の週に気仙沼合同庁舎等の職員を対象とした水産加工品等の斡旋販売を行う。 ■水産加工品の販売促進会(首都圏等の量販店における販売促進会) 10月・11月の「食材王国みやぎ地産地消推進月間」に合わせ、(株)イトーヨーカ堂等の量販店、市町と共催した水産加工品の販売促進会を開催する。

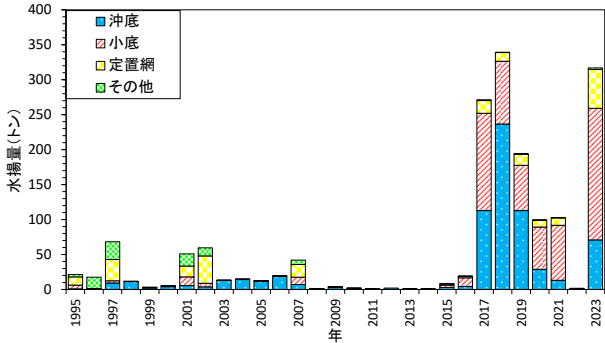
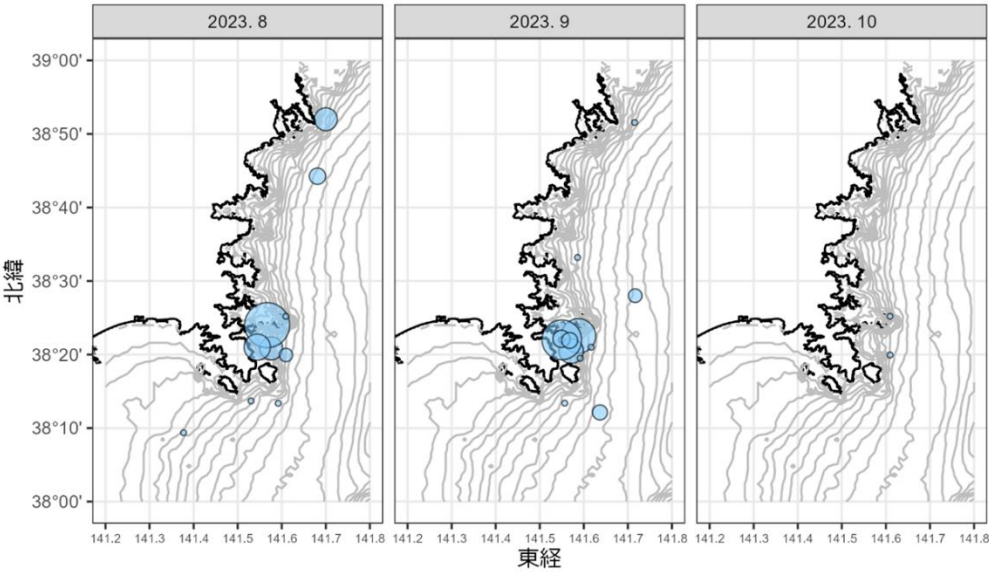
重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策9】自然環境や地域資源を活かした漁村地域の活性化
取組内容	魚食普及の取組
令和5年度の実績	●ヨシキリザメの身肉の消費拡大を目指した地元飲食店への流通体制整備 気仙沼魚市場に水揚げされるヨシキリザメは主に地元近海まぐろ延縄船によって漁獲され、漁業者に限らず地域水産加工業にとっても重要な魚種となっている。 しかしながら、震災以降、水産加工場の被災、原料事情の変化等により魚価が低迷しており、この回復が近海まぐろ延縄漁業の経営課題となっている。 従来、そのほとんどが、すり身原料となっているサメ肉の消費拡大・付加価値向上を図るため、サメ肉を活用した料理を地元飲食店で提供する取組を支援した。 【気仙沼市産業まつりへの出店】 令和5年10月22日に開催された「気仙沼市産業まつり」において、出展企業が実施する、ヨシキリザメや漁具の展示、サメに関するPR等の支援を行った。また、気仙沼リアス調理製菓専門学校で調理した「ヨシキリザメのふわっとメンチカツ」、「サメ団子(さめだん)の酢豚風」の販売を行った。  ヨシキリザメの展示  左:ヨシキリザメのふわっとメンチカツ 右:サメ団子(さめだん)の酢豚風 【サメ肉の商品化への取り組み】 管内飲食店と連携し、期間限定でサメ肉を使用したメニューを提供したほか、注文したお客さんにサメに関するアンケート調査を行った。一般的には「サメはアンモニア臭がする」というイメージがあるが、アンケート結果では、「思っていた以上に美味しかった」、「サメ肉のイメージが大きく変わった」等の意見が多数寄せられ、サメ肉の新たな活用の方角性を見出すことができた。  「得々井ランチセット」の小鉢として提供
令和6年度の主な取組	■6次産業化に取り組むに当たり、資金を確保する必要があることから、活用できそうな補助金等の情報を収集し、関係する企業に提供するなど、引き続き、要請があれば支援していく。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	宮城県漁業士会活動の支援(北部支部)
令和5年度の実績	●岩手県漁業士会大船渡支部との交流会 宮城県漁業士会北部支部では、令和5年8月21日に岩手県大船渡市「キャピタルホテル1000」を会場とし、岩手県漁業士会大船渡支部と交流した。交流会では、「養殖貝類の感染症とその対策について」というテーマで東京大学院農学生命科学研究科の伊藤直樹准教授に講演をいただき、貝類の感染症が問題視された経緯や、主要な貝類感染症の紹介とその対策について知識を深め、カキやホタテガイ等の二枚貝を主要な養殖種としている本県養殖業にとって非常に有意義な研修会となった。 研修会後、両支部で「海洋環境の変化等による漁業への影響と対策」というテーマで、意見交換会を行い、両地域に共通する養殖物のへい死や水揚げの遅れなど、高水温への対策が急務であることを再認識した。 本交流会は岩手県漁業士と交流する貴重な場であり、両支部会員にとって良い刺激となった。 ●先進地視察 令和5年8月22日に岩手県越喜来漁業協同組合、岩手県水産技術センター、一般社団法人岩手県栽培漁業協会の3か所を視察見学した。 岩手県越喜来漁業協同組合では、組合が保有するワカメ自営加工場の見学を行った。施設を整備することになった経緯や、利用方法、出荷先、越喜来地区のワカメの養殖状況に至るまでの経過を学んだ。 岩手県水産技術センターでは海藻やアサリの養殖試験を行っている様子を見学し、課題や新しい養殖手法のメリット等について説明を受けた。 一般社団法人岩手県栽培漁業協会では、施設内を見学しながら、生産管理しているヒラメ、ワカメ、ホンガレイについて知識を深めた。 今回の視察では、岩手県独自の施設や海藻やアサリの養殖試験等の最先端の研究を知ることのできる貴重な機会となった。  交流会の様子  先進地視察の様子
令和6年度の主な取組	■岩手県漁業士会大船渡支部との交流会 岩手・宮城両県の主要養殖種に関する情報交換等を目的とした交流会を開催する。 ■宮城県漁業士会北部支部における研修会及び先進地視察 近年の動向から研修テーマを決定し、漁業に関する最新知識・技術等を学ぶための研修会を開催する。また、先進地視察については、令和6年度に宮城県漁業士会として行われる三重県への先進地視察を北部支部の視察と合同で開催する。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	漁協青年部・女性部活動の支援
令和5年度の実績	●トリガイの天然採苗に向けた取組 他地区の種苗に依存するマガキやワカメ等の養殖種においては、近年、種苗の安定確保や新たな疾病の蔓延等の課題が生じている。 宮城県漁業協同組合唐桑支所青年部では、地元で生息しているトリガイに着目し、管内の環境条件に適応した安全かつ健全な種苗の確保と、地元種苗を活用した新たな養殖種の確立を目的にトリガイの天然採苗及び中間育成に取り組んだ。 ●トリガイ天然採苗及び中間育成 令和5年7月に唐桑町宿舞根の青年部の筏に採苗器(タライに砂を入れたもの)を垂下し天然採苗を実施した。3か月後の10月には平均52 mm に成長した稚貝約150個体を確認した。 令和5年10月に採苗器に入ったトリガイ稚貝を別の容器に移し替え、再び青年部の筏に垂下し中間育成を実施中。定期的に成長や生残状況等を観察している。  採苗器に入ったトリガイ  容器を移し替え中間育成
令和6年度の主な取組	■唐桑地区のトリガイについては、令和6年度も採苗器の数を増やし、引き続き天然採苗・中間育成に取り組むことにしている。また、他地区においても、地元の資源を活用した取組を積極的に提案していく。

重点推進事項	【基本方向3】将来にわたって持続する活力ある漁業地域とそれを支える人づくり
取組項目	【施策10】新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
取組内容	漁協青年部・女性部活動の支援
令和5年度の実績	●料理教室の開催 北部地区漁協女性部員から、「普段利用しているサバ缶を使ったアレンジ料理を作りたい」との要望があったことから、北部地区漁協女性部連絡協議会研修会として、令和5年9月8日に気仙沼市魚市場内のクッキングスタジオにおいて、コロナ禍以降初となる料理教室が開催された。当日は北部地区女性部6団体、計17人の女性部員が参加した。 「家庭でも簡単に作れるサバ缶料理」をテーマに、気仙沼リアス調理製菓専門学校の蛸原校長先生に講師を依頼したところ、「サバの甘酢ソース」、「サバの炊き込みご飯」、「あら汁風サバ缶で簡単お味噌汁」、「シャンパンゼリー」、「サバ缶でできる副菜(4品)」の計8品についてレシピを考案していただいた。蛸原校長先生による実演調理後、各地区の女性部員同士で交流しながら調理を実践した。 料理完成後の試食会では、「普段同じような料理を作ることが多く参考になった」、「サバ缶で様々なメニューを作れることに驚いた。家で実践したい。」との感想があり、参加した女性部員に大変好評であった。 料理教室開催後は、各女性部にレシピを配布し、女性部員の加入促進活動を支援した。また令和6年1月12日には、歌津支所女性部による「浜の母ちゃんのご飯」をテーマとした料理教室が石巻市のみやぎ生協蛇田店で開催された。歌津支所女性部員4名が講師となり、参加した地域住民10名と料理教室を通じて交流を深めた。  蛸原校長先生による実演調理  女性部員による実践調理  完成したサバ缶料理
令和6年度の主な取組	■料理教室の開催 近年、三陸沿岸の海水温が上昇している影響により、北部管内でもこれまで水揚げ量が少なかった暖水性魚種が増加している。漁業者からもアイゴ等の低未利用魚種の活用方法についての相談が増えていることから、「低未利用魚」をテーマとした料理教室の開催について提案していく。

水産技術総合センター

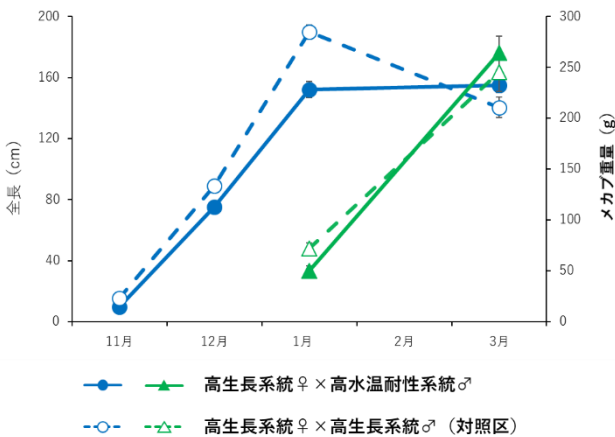
重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策2】資源の有効活用等収益性の高い漁業への転換 ※主に沿岸漁船漁業
取組内容	新たな資源評価対象種「ケンサキイカ」の資源動向調査
令和5年度の実績	●ケンサキイカの資源変動要因を把握するため、宮城県総合行政水産情報システムを用いて水揚げデータを抽出した。2017年以降、暖水波及の影響等により、ケンサキイカの水揚げ量は増加し、2023年の水揚げ量は過去最高であった2018年に次ぐ317トンに達した。 ●8月～10月に宮城県沿岸で漁業者による釣り試験操業を実施したところ、最大20 kgの漁獲があった。金華山の北側付近及び気仙沼沖の水深60～80 m付近の漁場でCPUE (kg/時/隻) が高い傾向が見られた。  漁法別ケンサキイカ水揚げ量の推移  試験操業で釣獲されたケンサキイカ  調査月別の操業位置とCPUE (kg/時/隻)
令和6年度の主な取組	■本県沿岸において資源量が増加傾向にあることから、水揚げデータや生物測定データを蓄積する。 ■ケンサキイカを狙ったいか釣り漁業の採算性向上のため、操業期間や漁場探索海域を拡充し最適な操業方法を検討する。 ■福岡県宗像市における先進地視察で情報を得た「たる流し漁業」の導入の可能性について調査する。

重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換 ※養殖業
取組内容	ホタテガイ地先種苗による地種養殖の取組支援
令和5年度の実績	●令和4年度までに北上町十三浜地区と女川町出島地区の2地区へホタテガイ地種生産に必要な資材の貸与を行った。令和5年度は出島地区に地種半成貝25千個の増産に必要な資材を追加貸与し、合計135千個の出荷体制を構築した。 ●また、前年度に出荷された地種半成貝の生残等の状況確認を行った。令和5年6月（水揚げ時）の生残率は、県外産で81.5%、地種（十三浜）で61.1%、地種（女川）で77.1%だった。十三浜の生残率については、貝殻の変形や出血痕を有する個体の割合が他地区より高く、時化による揺動等の影響が考えられた。  中部管内の地種半成貝出荷イメージ  地種半成貝の引渡しの様子
令和6年度の主な取組	■近年、海洋環境の変化に伴い天然採苗を行う漁業者において稚貝の確保が困難となっていることから、稚貝100千個の生産に必要な採苗器の資材の貸与を行う。 ■種苗生産における各工程（分散作業等）での生残等の状況確認を行う。 ■出荷後の地種半成貝の成長、生残等の追跡調査を行う。

重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換
取組内容	養殖業における防疫体制
令和5年度の実績	●生産者からの依頼を受けて、内水面25件、海面26件の合計51件の魚病診断を行い、対策を指導した。また、使用指導書をワクチンで11件、抗菌剤で3件発行し、適切な使用を指導した。さらに、コイヘルペスウイルス等の保菌検査やサケ科魚類の輸入卵についての調査を行い、防疫対策に努めた。 ●マボヤの被囊軟化症のモニタリング調査を年2回実施しており、令和5年度は海水温が例年より高く推移したことにより、一部海域で被囊軟化症や夏腐れを確認した。また、ギンザケのEIBS抗体検査を実施し、被害軽減とまん延防止に努めた。さらに、新しい疾病の現状把握と対策に取り組んだ。  EIBS抗体検査
令和6年度の主な取組	■生産者から依頼があった際には、迅速に魚病診断を行い、対策や防疫の指導により、養殖業の安定生産に寄与する。 ■重要疾病のモニタリング調査等に取り組み、まん延防止を図る。

重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換
取組内容	松島湾カキ漁場環境調査
令和5年度の実績	●松島湾におけるカキのへい死要因を解明するとともに対策を検討するため、松島湾の内湾3点、外湾2点で養殖カキの生物測定とカキ漁場の環境調査を行った。 ●成熟期(6～7月)では、カキのサイズが大きいほどへい死が多い傾向にあった。また、最終的なへい死率は、内湾よりも外湾の方が高かった。  調査地点に垂下されているカキ  調査用に水揚げしたカキ
令和6年度の主な取組	■引き続き、松島湾で養殖カキの生物測定とカキ漁場の環境調査を行う。 ■調査期間を延長し、へい死の発生率の変動を確認する。

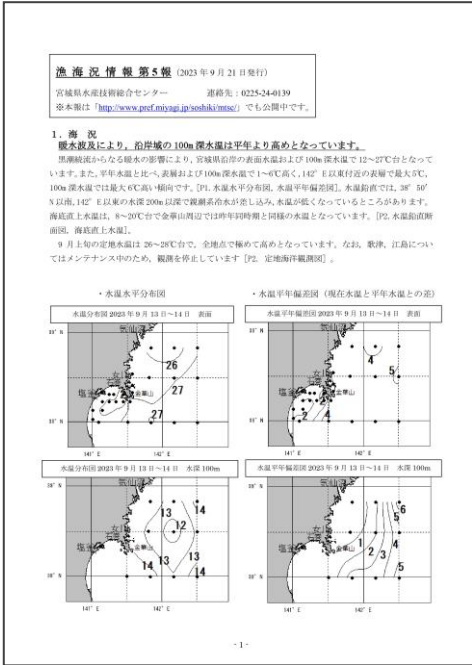
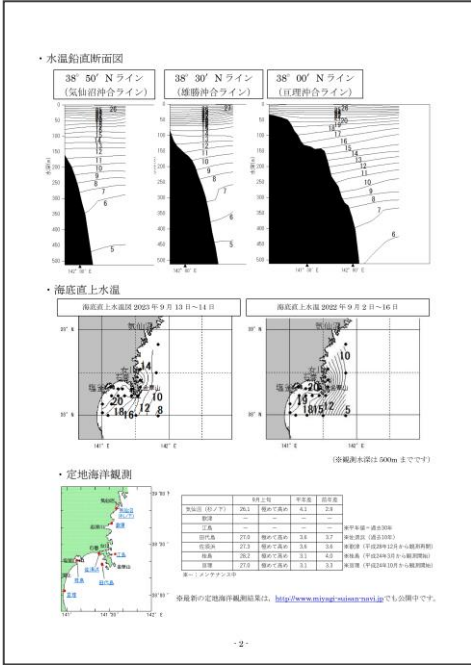
重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換 ※養殖業
取組内容	海水温上昇を見据えたアカモクの養殖技術開発
令和5年度の実績	●令和4年度に取り組んだ養殖技術開発の追試として、4月に水槽での人工採苗を実施し、陸上水槽及び冷蔵庫で採苗基質の管理を行った。水槽管理では、高水温による芽落ち等のリスクを伴うのに対し、冷蔵管理ではこれらの問題を回避でき、海水温上昇に対し有効であることを確認した。 ●得られた採苗基質を10月に東松島市鳴瀬大塚地先に沖出しし、試験養殖を開始した。12月まで順調に生長したが、1月以降停滞した。生長の停滞は低水温や付着生物による生長阻害によるものと考えられ、対策が今後の課題である。  アカモクの幼芽(カキ殻基質に付着)  試験養殖中のアカモク
令和6年度の主な取組	■人工採苗と大塚地先での試験養殖を継続し、沖出し後の生長に適した条件等を検討する。

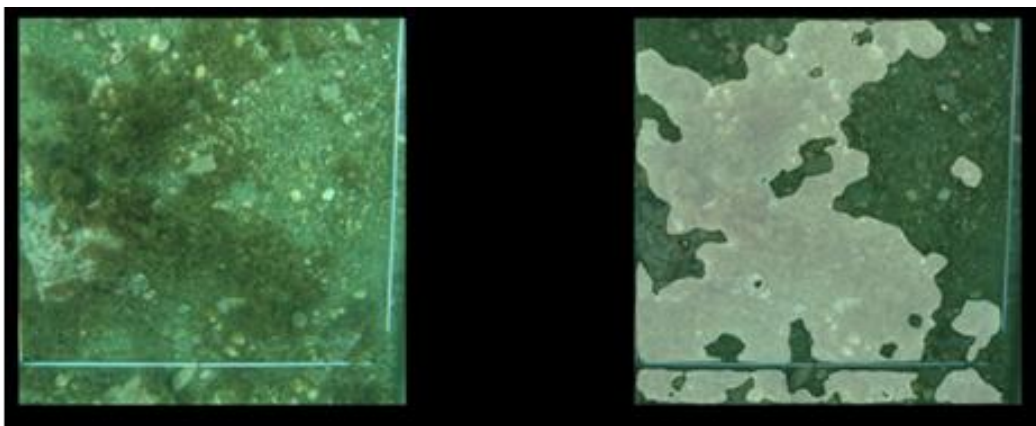
重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換
取組内容	海水温上昇を見据えたワカメ品種の開発
令和5年度の実績	●高水温に強く生長の良いワカメ種苗の作出および現場での実証を目的とし、高水温環境下に生育していた母藻に由来する系統と、地元生産者により養殖され特に大きく生長していた系統から培養したフリー配偶体を交配させ、生産者のニーズに沿った種苗の作出に取り組んできた。 ●令和5年度においては、地元生産者及び漁協青年部の協力のもと、気仙沼市階上地区及び南三陸町志津川地区の計4漁場で、上記のフリー配偶体の交配により得た試験種苗(試験区)および高水温耐性を持たないと考えられる従来の種苗(対照区)を用いて養殖試験を実施した。このうち、階上地区の2漁場では、試験区及び対照区ともに順調に生長し、生わかめ、塩蔵わかめ、メカブ等として生産者によって出荷されるまでに至った。 ●これらの結果から、試験区と対照区との生残率に明確な差は見られず、試験区の高水温耐性を確認することはできなかったものの、これらの種苗が出荷に耐えうる品質を備えることが確かめられた。  試験養殖中のワカメ (12月撮影)  試験時の全長およびメカブ重量の推移
令和6年度の主な取組	■令和6年度の試験では、種苗をより多くの生産者に提供した上で、複数の漁場で従来の養殖開始時期に近い9月下旬に養殖試験を実施し、高水温耐性の確認および生長・品質に係るデータの収集に努め、海水温の上昇に対応した持続的なワカメ養殖を推進する。

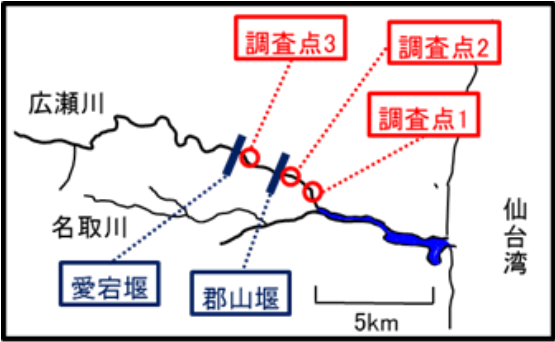
重点推進事項	【基本方向1】持続的で収益性が高く、創造的な漁業・養殖生産体制の確立																																																																																																																																																																																								
取組項目	【施策3】収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換 ※養殖業																																																																																																																																																																																								
取組内容	有用貝類毒化監視に関する調査																																																																																																																																																																																								
令和5年度の実績	■各調査点においてプランクトン出現状況調査(1～4回/月)を行うとともに調査結果について関係機関に情報提供した。また、あわせてムラサキイガイ、アカザラガイ及びトゲクリガニの毒量検査を行った。 【調査実施状況】 南部海域:荻浜30回/年、中部海域:塚浜29回/年、北部海域:気仙沼湾は調査点毎に31回/年(港町31回/年)、唐桑半島東部26回/年、志津川湾、小泉・伊里前湾は調査点毎に13回/年。 麻痺性貝毒による出荷自主規制状況(令和5年4月1日より令和6年3月31日現在) <table><tr><th rowspan="2">海域</th><th rowspan="2">対象種</th><th rowspan="2">規制開始時の毒量 (MU/g・可食部)</th><th colspan="2">出荷規制期間</th></tr><tr><th>規制開始</th><th>規制解除</th></tr><tr><td>北部海域</td><td>アカザラガイ</td><td>5.8</td><td>R5. 4. 11</td><td>R5. 12. 19</td></tr><tr><td>南部海域</td><td>ムラサキイガイ</td><td>6.2</td><td>R5. 4. 11</td><td>R5. 5. 16</td></tr><tr><td>気仙沼湾</td><td>ホタテガイ</td><td>5.2</td><td>R5. 4. 11</td><td>R5. 11. 14</td></tr><tr><td>石巻湾東部</td><td>カキ</td><td>7.4</td><td>R5. 4. 17</td><td>R5. 5. 9</td></tr><tr><td>石巻湾中央部</td><td>カキ</td><td>9.0</td><td>R5. 4. 17</td><td>R5. 5. 9</td></tr><tr><td>小泉・伊里前湾</td><td>ホタテガイ</td><td>4.2</td><td>R5. 4. 18</td><td>R5. 10. 17</td></tr><tr><td>北部海域</td><td>ムラサキイガイ</td><td>4.1</td><td>R5. 4. 19</td><td>R5. 7. 4</td></tr><tr><td>唐桑半島東部</td><td>ホタテガイ</td><td>7.9</td><td>R5. 4. 25</td><td>R5. 11. 14</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>ホタテガイ</td><td>4.6</td><td>R5. 4. 25</td><td>R5. 9. 26</td></tr><tr><td>志津川湾</td><td>ホタテガイ</td><td>16.0</td><td>R5. 5. 2</td><td>R5. 11. 28</td></tr><tr><td>雄勝湾</td><td>ホタテガイ</td><td>4.3</td><td>R5. 5. 9</td><td>R5. 10. 17</td></tr><tr><td>南部海域</td><td>アカザラガイ</td><td>12.0</td><td>R5. 5. 16</td><td>R5. 8. 14</td></tr><tr><td>女川湾・牡鹿半島東部</td><td>ホタテガイ</td><td>6.3</td><td>R5. 5. 16</td><td>R5. 8. 14</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>マボヤ</td><td>5.2</td><td>R5. 5. 16</td><td>R5. 6. 20</td></tr><tr><td>志津川湾</td><td>カキ</td><td>13.0</td><td>R5. 5. 22</td><td>R5. 6. 12</td></tr><tr><td>雄勝湾</td><td>マボヤ</td><td>4.2</td><td>R5. 5. 23</td><td>R5. 6. 13</td></tr><tr><td>小泉・伊里前湾</td><td>カキ</td><td>9.1</td><td>R5. 5. 29</td><td>R5. 6. 19</td></tr><tr><td>雄勝湾</td><td>カキ</td><td>6.4</td><td>R5. 5. 29</td><td>R5. 6. 19</td></tr><tr><td>中部海域</td><td>ムラサキイガイ</td><td>6.3</td><td>R5. 5. 31</td><td>R5. 6. 20</td></tr><tr><td>中部海域</td><td>ヤマトシジミ</td><td>5.4</td><td>R5. 6. 1</td><td>R5. 6. 22</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>ホタテガイ</td><td>9.1</td><td>R5. 11. 7</td><td>R5. 12. 12</td></tr></table> 下痢性貝毒による出荷自主規制状況(令和5年4月1日より令和6年3月31日現在) <table><tr><th rowspan="2">海域</th><th rowspan="2">対象種</th><th rowspan="2">規制開始時の毒量 (mgOA当量/kg・可食部)</th><th colspan="2">出荷規制期間</th></tr><tr><th>規制開始</th><th>規制解除</th></tr><tr><td>北部海域</td><td>ムラサキイガイ</td><td>0.21</td><td>R5. 5. 17</td><td>R5. 9. 14</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.22</td><td>R5. 5. 23</td><td>R5. 8. 1</td></tr><tr><td>唐桑半島東部</td><td>ホタテガイ</td><td>0.24</td><td>R5. 5. 30</td><td>R5. 7. 11</td></tr><tr><td>女川湾・牡鹿半島東部</td><td>ホタテガイ</td><td>0.47</td><td>R5. 5. 30</td><td>R5. 7. 18</td></tr><tr><td>気仙沼湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.19</td><td>R5. 6. 6</td><td>R5. 6. 27</td></tr><tr><td>雄勝湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.52</td><td>R5. 6. 13</td><td>R5. 7. 18</td></tr><tr><td>雄勝湾</td><td>カキ</td><td>0.29</td><td>R5. 6. 19</td><td>R5. 7. 10</td></tr><tr><td>小泉・伊里前湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.31</td><td>R5. 6. 20</td><td>R5. 7. 25</td></tr><tr><td>志津川湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.21</td><td>R5. 6. 20</td><td>R5. 7. 25</td></tr><tr><td>中部海域</td><td>ムラサキイガイ</td><td>0.17</td><td>R5. 6. 27</td><td>R5. 8. 1</td></tr><tr><td>唐桑半島東部</td><td>ホタテガイ</td><td>0.20</td><td>R5. 8. 1</td><td>R5. 8. 29</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.19</td><td>R5. 8. 8</td><td>R5. 8. 29</td></tr><tr><td>追波湾</td><td>ホタテガイ</td><td>0.17</td><td>R5. 10. 10</td><td>R5. 10. 31</td></tr></table>	海域	対象種	規制開始時の毒量 (MU/g・可食部)	出荷規制期間		規制開始	規制解除	北部海域	アカザラガイ	5.8	R5. 4. 11	R5. 12. 19	南部海域	ムラサキイガイ	6.2	R5. 4. 11	R5. 5. 16	気仙沼湾	ホタテガイ	5.2	R5. 4. 11	R5. 11. 14	石巻湾東部	カキ	7.4	R5. 4. 17	R5. 5. 9	石巻湾中央部	カキ	9.0	R5. 4. 17	R5. 5. 9	小泉・伊里前湾	ホタテガイ	4.2	R5. 4. 18	R5. 10. 17	北部海域	ムラサキイガイ	4.1	R5. 4. 19	R5. 7. 4	唐桑半島東部	ホタテガイ	7.9	R5. 4. 25	R5. 11. 14	追波湾	ホタテガイ	4.6	R5. 4. 25	R5. 9. 26	志津川湾	ホタテガイ	16.0	R5. 5. 2	R5. 11. 28	雄勝湾	ホタテガイ	4.3	R5. 5. 9	R5. 10. 17	南部海域	アカザラガイ	12.0	R5. 5. 16	R5. 8. 14	女川湾・牡鹿半島東部	ホタテガイ	6.3	R5. 5. 16	R5. 8. 14	追波湾	マボヤ	5.2	R5. 5. 16	R5. 6. 20	志津川湾	カキ	13.0	R5. 5. 22	R5. 6. 12	雄勝湾	マボヤ	4.2	R5. 5. 23	R5. 6. 13	小泉・伊里前湾	カキ	9.1	R5. 5. 29	R5. 6. 19	雄勝湾	カキ	6.4	R5. 5. 29	R5. 6. 19	中部海域	ムラサキイガイ	6.3	R5. 5. 31	R5. 6. 20	中部海域	ヤマトシジミ	5.4	R5. 6. 1	R5. 6. 22	追波湾	ホタテガイ	9.1	R5. 11. 7	R5. 12. 12	海域	対象種	規制開始時の毒量 (mgOA当量/kg・可食部)	出荷規制期間		規制開始	規制解除	北部海域	ムラサキイガイ	0.21	R5. 5. 17	R5. 9. 14	追波湾	ホタテガイ	0.22	R5. 5. 23	R5. 8. 1	唐桑半島東部	ホタテガイ	0.24	R5. 5. 30	R5. 7. 11	女川湾・牡鹿半島東部	ホタテガイ	0.47	R5. 5. 30	R5. 7. 18	気仙沼湾	ホタテガイ	0.19	R5. 6. 6	R5. 6. 27	雄勝湾	ホタテガイ	0.52	R5. 6. 13	R5. 7. 18	雄勝湾	カキ	0.29	R5. 6. 19	R5. 7. 10	小泉・伊里前湾	ホタテガイ	0.31	R5. 6. 20	R5. 7. 25	志津川湾	ホタテガイ	0.21	R5. 6. 20	R5. 7. 25	中部海域	ムラサキイガイ	0.17	R5. 6. 27	R5. 8. 1	唐桑半島東部	ホタテガイ	0.20	R5. 8. 1	R5. 8. 29	追波湾	ホタテガイ	0.19	R5. 8. 8	R5. 8. 29	追波湾	ホタテガイ	0.17	R5. 10. 10	R5. 10. 31
海域	対象種				規制開始時の毒量 (MU/g・可食部)	出荷規制期間																																																																																																																																																																																			
		規制開始	規制解除																																																																																																																																																																																						
北部海域	アカザラガイ	5.8	R5. 4. 11	R5. 12. 19																																																																																																																																																																																					
南部海域	ムラサキイガイ	6.2	R5. 4. 11	R5. 5. 16																																																																																																																																																																																					
気仙沼湾	ホタテガイ	5.2	R5. 4. 11	R5. 11. 14																																																																																																																																																																																					
石巻湾東部	カキ	7.4	R5. 4. 17	R5. 5. 9																																																																																																																																																																																					
石巻湾中央部	カキ	9.0	R5. 4. 17	R5. 5. 9																																																																																																																																																																																					
小泉・伊里前湾	ホタテガイ	4.2	R5. 4. 18	R5. 10. 17																																																																																																																																																																																					
北部海域	ムラサキイガイ	4.1	R5. 4. 19	R5. 7. 4																																																																																																																																																																																					
唐桑半島東部	ホタテガイ	7.9	R5. 4. 25	R5. 11. 14																																																																																																																																																																																					
追波湾	ホタテガイ	4.6	R5. 4. 25	R5. 9. 26																																																																																																																																																																																					
志津川湾	ホタテガイ	16.0	R5. 5. 2	R5. 11. 28																																																																																																																																																																																					
雄勝湾	ホタテガイ	4.3	R5. 5. 9	R5. 10. 17																																																																																																																																																																																					
南部海域	アカザラガイ	12.0	R5. 5. 16	R5. 8. 14																																																																																																																																																																																					
女川湾・牡鹿半島東部	ホタテガイ	6.3	R5. 5. 16	R5. 8. 14																																																																																																																																																																																					
追波湾	マボヤ	5.2	R5. 5. 16	R5. 6. 20																																																																																																																																																																																					
志津川湾	カキ	13.0	R5. 5. 22	R5. 6. 12																																																																																																																																																																																					
雄勝湾	マボヤ	4.2	R5. 5. 23	R5. 6. 13																																																																																																																																																																																					
小泉・伊里前湾	カキ	9.1	R5. 5. 29	R5. 6. 19																																																																																																																																																																																					
雄勝湾	カキ	6.4	R5. 5. 29	R5. 6. 19																																																																																																																																																																																					
中部海域	ムラサキイガイ	6.3	R5. 5. 31	R5. 6. 20																																																																																																																																																																																					
中部海域	ヤマトシジミ	5.4	R5. 6. 1	R5. 6. 22																																																																																																																																																																																					
追波湾	ホタテガイ	9.1	R5. 11. 7	R5. 12. 12																																																																																																																																																																																					
海域	対象種	規制開始時の毒量 (mgOA当量/kg・可食部)	出荷規制期間																																																																																																																																																																																						
			規制開始	規制解除																																																																																																																																																																																					
北部海域	ムラサキイガイ	0.21	R5. 5. 17	R5. 9. 14																																																																																																																																																																																					
追波湾	ホタテガイ	0.22	R5. 5. 23	R5. 8. 1																																																																																																																																																																																					
唐桑半島東部	ホタテガイ	0.24	R5. 5. 30	R5. 7. 11																																																																																																																																																																																					
女川湾・牡鹿半島東部	ホタテガイ	0.47	R5. 5. 30	R5. 7. 18																																																																																																																																																																																					
気仙沼湾	ホタテガイ	0.19	R5. 6. 6	R5. 6. 27																																																																																																																																																																																					
雄勝湾	ホタテガイ	0.52	R5. 6. 13	R5. 7. 18																																																																																																																																																																																					
雄勝湾	カキ	0.29	R5. 6. 19	R5. 7. 10																																																																																																																																																																																					
小泉・伊里前湾	ホタテガイ	0.31	R5. 6. 20	R5. 7. 25																																																																																																																																																																																					
志津川湾	ホタテガイ	0.21	R5. 6. 20	R5. 7. 25																																																																																																																																																																																					
中部海域	ムラサキイガイ	0.17	R5. 6. 27	R5. 8. 1																																																																																																																																																																																					
唐桑半島東部	ホタテガイ	0.20	R5. 8. 1	R5. 8. 29																																																																																																																																																																																					
追波湾	ホタテガイ	0.19	R5. 8. 8	R5. 8. 29																																																																																																																																																																																					
追波湾	ホタテガイ	0.17	R5. 10. 10	R5. 10. 31																																																																																																																																																																																					
令和6年度の主な取組	■県内3海域において貝毒プランクトン出現状況調査(1～4回/月)及びムラサキイガイ、アカザラガイ、トゲクリガニの毒量検査を実施する。																																																																																																																																																																																								

重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化
取組項目	【施策4】水産加工業者等の経営安定化
取組内容	水産加工業界に対する技術的支援の取組
令和5年度の実績	●水産加工公開実験棟に整備した各種加工機器類を活用し、新商品開発や既存商品改良等の技術支援、加工技術に関する相談への対応等を通して県内の水産加工業者等を支援した。 ●水産加工業者等による令和5年度の機器利用実績は93件で、延べ100台(15種)の加工機器が利用された。レトルト殺菌装置の利用が80回と最も多く、次いで、電子スモーク装置、真空凍結乾燥機が3回、過熱水蒸気調理機、スチームコンベクションオーブンが2回、その他、卓上真空包装機やサーモンスライサー等も利用された。機器利用に際しては、水産技術総合センター水産加工開発チームが操作方法や機器の調整等を支援した。 ●公開実験棟で試作されたものの中には、商品化された事例もあり、水産技術総合センターの技術支援事例としてホームページでも紹介している。 (https://www.pref.miyagi.jp/site/gaiyou/kakou-gijyutsusien.html) ●令和5年度に対応した加工相談の件数は44件であった。暖水性魚種、低未利用魚種等の水産加工原料、加工技術、機械に関することや食品衛生、成分、原料調達、OEMに関する相談等があり、必要に応じて資料等を提供し対応を行った。 ●水産技術総合センター水産加工開発チームでは、事業成果の普及と公開実験棟の利用促進を目的とした公式 Instagram により、試作した加工品のレシピや公開実験棟の加工機器を活用した加工事例等を紹介した。  水産加工公開実験棟  公式 Instagram グラム QR コード
令和6年度の主な取組	■水産加工公開実験棟に整備した加工機器を活用した水産加工業者等への支援を行う。 ■水産加工業者等から寄せられる加工相談へ対応し解決する。

重点推進事項	【基本方向2】社会・経済環境の変化に対応できる流通・加工業の体制構築と水産物の販売力強化
取組項目	【施策7】水産都市の活力強化
取組内容	環境変化に伴う地域水揚げ水産物の加工開発
令和5年度の実績	●海洋環境等の変化により、これまで主な加工原料であったサンマ・シロサケ・スルメイカ等の冷水性魚種の水揚量が大幅に減少しており、これらを利用してきた水産加工業者は原料不足・単価高騰といった厳しい経営環境に直面している。また、国際情勢等により輸入原料の確保も困難な状況になる中、水産加工業者にとっては、新たな加工原料の確保が喫緊の課題となっている。 ●一方、チダイ・タチウオ・サワラ等の暖水性魚種の水揚量が近年増加している。しかし、水産加工業者にとっては、暖水性魚種が今後も継続して水揚げされるのか判断が難しく、処理設備投資や新製品開発については躊躇せざるを得ない状況にあることから、暖水性魚種の加工利用を促進するため、以下の取組を実施した。 ●水揚げ統計データの収集・整理を行い、加工利用を行う魚種について検討した。選定したアカムツ、シイラの漁獲月ごとの生・煮熟・焙焼・蒸煮の4通りのサンプルについて、一般成分・旨味成分の分析を行った。その他、魚種ごとの特性に適した加工方法の検討を行った。 ●「タチウオの蒲焼き風」、「アカムツの炊き込みご飯の素」、「シイラの一夜干し」の3品について、加工品試作し、レシピを開発した。 ●企業や県民における認知度向上・消費拡大を目指し、ホームページ、Instagram 等を活用してPRしたほか、各種イベントや企業訪問時等に研究で得られた情報（一般成分分析、遊離アミノ酸分析結果等）及び試作加工品の提供を行った。 ●令和6年3月末現在、本取組についてテレビ局2社、新聞社1社に報道されたほか、県内企業数社によってチダイを利用した加工品が製品化され、一般向けに販売されている。  タチウオの蒲焼き風  アカムツの炊き込みご飯の素  シイラの一夜干し  Instagram  第48回宮城県水産加工品品評会での情報提供
令和6年度の主な取組	■低未利用魚の利用も含めた新たな加工原料開発に向けた試験研究と、水産加工企業等への情報発信、試作加工品等の提供を実施する。 ■製品化を検討する水産加工企業等に対する伴走型支援を実施する。 ■新たな加工原料を用いた加工品についての認知度向上、消費拡大を目指し、ホームページやInstagram、各種研修会等を活用して研究成果を普及する。

重点推進事項	【基本方向4】海の豊かさを守り支える資源管理と漁場・水域環境保全の推進
取組項目	【施策12】生産力の高い漁場の整備や水域環境の保全
取組内容	漁海況情報提供の推進
令和5年度の実績	●沿岸定線観測データの収集と宮城県総合水産行政情報システムによる水揚量の調査を実施するとともに、海況・漁況の情報を「漁海況情報」として周年FAX・ホームページ等を用いて、関係漁協・機関等へ情報提供を行った。   漁海況情報(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/) ●観測データは、東北海区海況予報(年5回実施)の基礎資料として活用した。また、7月にはサンマ長期漁海況予報にあわせて東北海区海況予報として活用した。さらに、宮城県漁業士会南部支部(6月)の研修会において漁海況に関する情報提供を行った。 ●沿岸定線観測データの見直しと統計的手法に基づいた水温予測の再検討を行い、11月に開催された東北ブロック水産海洋連絡会において発表を行った。発表内容は令和5年度東北ブロック水産海洋連絡会報 第54号(令和6年3月)に掲載された。
令和6年度の主な取組	■本県沿岸の漁況・海況に関する情報を速やかに関係者へ情報提供することを目的として沿岸定線調査を周年実施し、水温・塩分の測定およびノルパックネットによる生物採取等を行う。得られたデータをもとに年5回沿岸水温予測を行うとともに、東北海区海況予報(東北ブロック5県及び水産研究・教育機構)の基礎資料として活用する。また、海況情報のとりまとめと併せて、宮城県総合水産行政情報システムで各月・周年の主要魚種水揚量を調査し、漁海況情報として関係漁協・機関等へ情報提供を行う。

重点推進事項	【基本方向4】海の豊かさを守り支える資源管理と漁場・水域環境保全の推進
取組項目	【施策12】生産力の高い漁場の整備や水域環境の保全
取組内容	水中写真等を用いた藻場モニタリング手法の開発
令和5年度の実績	●令和4年度に開発した水中カメラによる調査手法は、船上で水中カメラの撮影間隔を5秒に1回の連続撮影に設定して海底に降ろし、船上に引き上げるという作業を繰り返すことによって得ている。このため、得られた画像の中から目視で海底画像を選択した上でさらに1 m×1 m 四方の海藻の面積やウニの個体数を推定しているため、調査結果の整理に時間を要することが課題となっていた。この課題を解決するため、「宮城県と東日本電信電話株式会社（NTT東日本）とのDX推進に関する連携協定」に基づき、AIによる画像解析技術を有する、NTT東日本とともに藻場の被度とウニの個体数を判別するAIモデルの開発を行った。 ●下図のように得られた写真について、適当な画像を選別し、藻場の被度とウニの個体を計測する方法で、確認したところ、写真によっては判別精度が低いものもあった。これは、教師データの不足によるものと考えられ、精度向上にはより多くの教師データを用いて繰り返し学習させる必要があると考えられた。  <pre> 30-2000 (581)_down.jpg,55.13812244897959,2000 (581) 海画像無し,-- 32-2000 (594)_down.jpg,0.0,2000 (594) 33-2000 (601)_down.jpg,4.782922448979591,2000 (601) 34-2000 (612)_down.jpg,0.0,2000 (612) </pre> 海藻被度のAI判別結果 上左:実際の画像、上右:海藻判定画像(白色部分) 下:数値で被度が示される(55.1%)
令和6年度の主な取組	■AIによる画像判別能力が低い点については大きな課題であることから、精度の向上及びデータの活用方法について検討していく。

重点推進事項	【基本方向4】海の豊かさを守り支える資源管理と漁場・水域環境保全の推進
取組項目	【施策12】生産力の高い漁場の整備や水域環境の保全
取組内容	広瀬川における天然アユの遡上調査
令和5年度の実績	● 広瀬川に遡上する天然アユを調査するため、令和5年5月11日、25日及び6月7日、22日に、広瀬川の3調査点(調査点1:名取川合流点付近、調査点2:郡山堰下付近、調査点3:愛宕堰下付近)において投網による採捕を実施し、CPUE(投網1投あたりのアユの採捕尾数)を求めた。  天然アユの遡上調査点  投網による採捕調査 ● 各調査点におけるアユのCPUEは調査期間を通して、調査点1は5.0～46.4尾/投、調査点2は10.5～61.2尾/投、調査点3は15.9～63.3尾/投であった。過去10年平均のCPUEの値と比較すると、最下流の調査点1では5月下旬以降のCPUEが高く、また、最上流の調査点3では調査期間を通じてCPUEの値が高い状況がみられた。 ● これらの情報を県ホームページで公表した。 (https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/naisui/naisuisi-ayu.html)
令和6年度の主な取組	■ 引き続き、広瀬川にて調査を継続し、ホームページで遡上状況を公表する。